



長三池から見た西口団地

岩西校区は豊橋駅南東の高師原台地に位置しています。東海道本線・新幹線と国道1号に囲まれ、西には幸公園・長三池があり、市街へは自動車で10分以内という通勤適地です。標高30mの台地であるこの土地には、先人たちにより、ため池が多く造られていました。幸公園の長三池もそのひとつです。長三池は明治以前からあったと言われ、昔は石田村、佐藤、三ノ輪、東小池各町の稲作の大切な水源でした。近年、都市化が進んで稲作灌漑用水

としての役割がなくなり、今ではほとんど使われなくなっています。現在、長三池は幸公園として整備され、池には橋が架けられ、周囲には遊歩道が整備されています。隣接林内には地下水が湧き出す小さな湿地があり、全国ではほとんど見られなくなったナガバノイシモチソウが自生しています。湿地は保護地としてフェンスで囲まれ、入れませんが、花の咲く7月末か

ら8月にかけての日曜日に、観覧会が開かれ一般公開されます。このほかに、ヒメオトギリ、ヒナノカンザシなどが観察できます。長三池のほか、既に埋められてしまった後藤池、大山津美神社横の座頭池、東部学校給食共同調理場北の由三の池があり、小魚もたくさんいて、子どもたちの遊び場にもなっていました。

▼情報提供 岩西校区自治会

ため池 長三池の歴史

大崎校区

助け合い それこそ大崎

大崎校区は豊橋の南西部に位置し、一大産業地域と農地に挟まれた地域です。

大崎校区では、校区と小学校が合同で、「明るい校区づくり、体力づくり」をスローガンに「大崎スポーツフェスタ」を、毎年テーマを決めて行っています。平成19年度は「助け合い、それこそ大崎、勝ち抜き力」でした。準備 競技、片付け

で校区と小学校のみんなまで助け合っている、楽しい一日でした。子どもたちの感想も「大人の人が一生懸命に走っている姿はすごいなあと思います」「大玉送りは、小学生だけより長くなるから、おもしろいです」など、大人とのふれあいを楽しんでいるようでした。また、おじいさん、おばあさんも孫と一緒にからだを動かし、心地よ

い汗を流しながら楽しんでいます。普段あまり見ることのない大人の真剣さに接すること、話をすることのない近くのおじいさんやおばさんと会話すること、それが大崎の子どもたちの生きる力(苦難を乗り越える力)となってくれることを期待しています。

行事を通じて校区民のふれあいと連帯感を高めることができました。と思っています。本年度の開催は6月1日です。

▼情報提供 大崎校区自治会

あのまち

このまち

各校区からいただいた情報を掲載しています

岩西校区



子どもから大人まで楽しんでいます (昨年のような)

市民病院コーナー

私たちと一緒に看護をしてみませんか？



5月12日はナイチンゲールの誕生日で「看護の日」です。この「看護の日」に、市民病院では毎年、「ふれあい看護体験」を実施しています。

実際に看護師と一緒に行動し、患者さんの体を拭いたり、血圧を測ったり、話し相手になったりしながら、気軽に看護にふれていただける良い機会です。毎年、誰かのために役立つたいと思っている方、看護・福祉などに関心のある方、看護師を目指している方など興味のある方に参加していただいています。

市民病院では、患者さんに安心していただける、優しくあたたかい看護を目指し、職員一同がんばっています。看護師の仕事に興味のある方はお問い合わせください。

問合せ先 市民病院看護局(☎33・6111)

(看護局管理科 宇田あゆみ)



豊橋からマレーシアへ

自分の技術と経験を海外で役立てたい

定年退職後の社会貢献の一助として、微力ですが自分の持っている技術と経験を発展途上国の農産物の安全性向上に役立てたいと思い、今年3月まで家内共々マレーシア海外ボランティアとして、1997年からフィリピン・タイ・マレーシアで11年間、残留農薬監視のボランティア活動を行ってきました。最後の赴任地となったマレーシアでは、サバ州農業局中央農業研究所で残留農薬の分析方法を指導していました。

ボルネオ島北西部に位置するサバ州の主な産業は農業と観光で、サバ州農業局は、3年前より優良農家の認証制度(SALM)を始め、残留農薬の監視活動の強化を図りました。

この認証制度は2002年より始まり、首都クアラルンプールのジャスコなどのスーパーマーケットには既に「SALM」マークの付いた野菜が売られるようになっていました。また、サバ州のキナバル山麓にあるクンダサンでは、多くの野菜やお茶・果物が栽培され、「SALM」マークを付けた農作物がブルネイ、シンガポールへ輸出されています。

イスラム教が国教となっているマレーシアでもサバ州は特に先住民が多く、その容姿は日本人にも近く、治安も良くたいへん親しみを感しました。

今後は海外ボランティアとして経験したことを小・中学校や、私と同じように定年後、自分の経験を海外で活かしたいと考えている方々に広く伝えていきたいと考えています。



シニア海外ボランティア
鈴木敏雄さん(右端)

派遣先 フィリピン・タイ・マレーシア
滞在期間 平成9年3月～
平成20年3月

JICAとは

独立行政法人国際協力機構のことで、開発途上国の人材開発や技術提供などを行っています。また、青年海外協力隊やシニア海外ボランティアの派遣なども行っています。

市民のひろば

情報提供

中部シーリング印刷株式会社 岡本晃志さん



地域の清掃活動をグループで行っています

— お便利いただきました —

まちのこえ

近年は地球温暖化が叫ばれ、あらゆるメディアで環境問題が取り上げられています。会社も環境方針を策定して省エネルギー・廃棄物の削減とリサイクルの推進・省資源「活動」に取り組み環境問題に少しでも協力できるように努めています。

この活動の一環として月に一度、昼食の時間に10人程度のグループに分かれて会社の敷地内はもとより豊橋市上下水道局小池給水場、JR東海保線所の周りのゴミ拾いや雑草の摘み取りなどをして周辺地域の美化にも取り組んでいます。

環境問題が日常的に取りざたされる昨今、地域環境社会に貢献できる取り組みを考え、また市が行う530運動など環境に対する取り組みにも共鳴出来る活動を継続的に行おうと、今日まで取り組んで参りました。

私たちの出来る取り組みはまだ極々微力なものです。初心を忘れず、今後も地域の清掃活動を続けていきたいと思えます。

●このコーナーに、あなたのご意見・情報をお寄せください●

見どころ、イベント、ちょっとした話など身近な話題をお寄せください。※住所・氏名・電話番号を明記してください
広報広聴課(〒440-8501住所不要 ☎ 56・5711 ㊚ kohokocho@city.toyohashi.lg.jp)

豊橋市内の3月の交通事故(人身)

[] は昨年同月、() は今年の合計

- 件数 287件 [300件] (795件)
- 死者 2人 [2人] (6人)
- 傷者 389人 [362人] (987人)

豊橋市の人口と世帯

(平成20年4月1日現在)

- 人口 383,945人(前月比627人減)
[男192,199人/女191,746人]
 - 世帯 147,308世帯(前月比27世帯増)
- ※このうち外国人は20,428人/11,806世帯

今月の納税

固定資産税 第1期分
軽自動車税 全期
納期限 6月2日(月)

早めにお近くの金融機関(ゆうちょ銀行は口座振替のみ)またはコンビニエンスストア(バーコード印字のある納付書のみ)で納めましょう。納税には手間のかからない口座振替の制度が便利です。

問合せ先: 納税課 (☎ 51・2234)